# 教育センター学びの丘研修員研修の概要について

和歌山県教育センター学びの丘が実施する研修員研修は，研修員が教育に関する専門的・技術的事項について修養を積み，教員としての資質・能力を高めるとともに，今日的教育課題解決のための研究を行い，その成果を広く学校現場に還元することを目的としている。

今日，生成 AI やビッグデータ，Internet of Things（IoT），ロボティクスなど先端技術の高度化や社会構造の変化が進み，こども達の実態も多様化している。このような中，令和３年中央教育審議会答申では，2020 年代を通じて実現を目指す学校教育の姿を「全ての子供達の可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現」とし，その一体的な充実を通じて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくとともに，それを担う教師及び教職員集団の育成が示されている。

これらを踏まえ，研修員研修を「自らの課題や所属校における課題の解決を目指して取り組む研究と，その土台の部分となる様々な知識・技能を幅広く身に付けていく修養の機会（**下図参照**）」とし，教育センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による研修員研修，所属校における校内研修の機会を通して，教員としての資質・能力の向上に取り組んできた。

なお，自己の専門性を向上させるために，年間を通して行った研究については，「研究報告書」として研修員研究集録に掲載する。

| 段階 | 第１段階<br>基礎期 | 第２段階<br>向上期 | 第３段階<br>探究期 | 第４段階<br>充実期 | 第５段階<br>修了期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 月 | ４月～５月 | ６月～８月 | ９月～11月 | 12月～１月 | ２月～３月 |
| 研究 | ・研究テーマ，方向性を設定し，第１回報告会で発表 | ・所属校での研究に向けた計画の立案，模擬授業等の実施 | ・研究計画について第２回報告会で発表<br>・研究の実践　等 | ・研究実践で収集したデータ分析　等<br>・教育センター学びの丘研究報告会で発表 | ・研究報告書，資料の作成 |
| 修養 | 所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」<br>・教員としての資質の向上に関する指標に基づくトレーニング（「学習指導」「生徒指導力」「特別な配慮や支援を必要とする子供への対応」「ＩＣＴや情報・教育データの利活用」「教職に必要な素養」）<br>□専門性の向上を目指す研修等受講<br>□教職経験年数に対応した研修等聴講<br>□学びの丘指導主事等による研修員研修 | | | | |

**図　研修の概要**

令和７年３月

和歌山県教育センター学びの丘

研 究 開 発 課